婦人衛生雜誌

大正十一年十二月一日發行

第三百六十一號

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌

第三百六十八號目次

講演

○容貌と性格　醫學士　高峰博述

叢談

○食物と容貌　ケント、マーソン述

○「ヴィタミン」と健康並に疾病　エムメット述

○禁酒法令の健康上に及ぼせる影響　ストッタルト述

育兒

○子守の話　醫學士　竹内薫兵述

○子供の腹掛　醫學士　宇都野研述

家庭衛生

○盜賊に對する心得　莊司秋次郎述

雜報

○內務省妊產婦及兒童衛生講習會

○東京府の產婆試驗成績

○殺鼠劑の配付

○臺所用具展覽會

○產業展覽會

○兒童公園の盛況

○海濱學校建設計劃

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第三百六十八號
（大正十一年十二月一日發行）

容貌と性格

醫學士　高峰博

一、各國の俚諺、及傳説に表れたる容貌と性格

容貌とは「スガタ」、「カタチ」であります。性格とは、嚴密に云へば、其の人の個性に人格の現れたるものでありますが、分り易い言葉で申しますと、人の顔つきとか、姿とかと、それと人の性質とは、どんなものであるかと云ふお話しで御座います。

吾々は日常の經驗から見ても、人の性格と其の容貌との間に何やら關係の有りそうに思はれることが少くない、他人を初めて一瞥して何等かその間に相手の人の性格を看破し得べきかと考へ、古來から幾多の考察が行はれたのであります、觀相學、骨相學、人相學等と稱するのが夫で、更に之より手相判斷とか、墨色判斷等も現れ、おまけに劍刃上の疵などを見て、其の人々の吉凶禍福を占ふ劍相といふものも出來ました。

斯樣な思想の起るのも無理のない事で、此の狹い顔の中に、眼だとか、鼻だとか、口、耳等、大抵人の暮し生きて行く爲に必要なる道具が容貌として集つて居り、又、それが精神の動くにつれて切那〱に多少變化を見せるものですから、如何しても人が自他の相好に氣がつき、殊に婦人の方になると其の程度が激しいのであります、而して人の性格と其の容貌との間に何等かの關係が有りそうに思はれる事が少くない、「人の心は其顔の異るが如し」とて、各人の心も別々、各人の顔も別々だとしたならば、其

の同一人の心と容貌との關係や如何、此れ實に面白い問題ではありませんか。

所で各國の俚諺や、傳說に表れた容貌と性格とを考へて見ると、また、とりとめが無い、世間の諺に「人は見かけによらぬもの」とか、「外面如菩薩、内心如夜叉」と云ひ、又西洋の諺には、Fine feathers do not make a fine bird（羽毛の美しきが必しも良き鳥ならず）とあり、古人の言としては「大賢は愚なるが如し」とか又孔子は「論篤是れ與せば、君子か色莊者か」とて誡め、老子は「大直は屈めるが如く、大巧は拙きが若く、大辯は調なるが若し」と云ひ、或は「大白は辱しきが若く、廣德は足らざるが若し」等と云ふて、抽象的の語ではあるが、内外表裏の相反せる傾向を述べて居るのであります。西人の言としてはシセロは「顏貌は、心の門戶にして、其の肖像なり」と性貌相關を唱へ、又我國でも「美なる人は心麗し」とも申して居りますが又是と反對に Beauty is only skin deep「美は皮だけの深さなり」とて、其のはかなきものなるをいふて居るかと思へば Handsome is that handsome does.「心美しければ、みめも美し」との諺もあり、我々の間にも「美人薄命」の語がある。さうかと思へば「女、氏無ふして玉の輿に乘る」と云ふのは、間接に美貌の有力なるを語るもので、又實に「色の白きは七難かくす」といひます。

更らに眼を轉じて、古來の寓話、逸史を繙けば、種々の面白いことがある、彼の佛蘭西革命の際、政界の第一人者として人氣を一身に集めて居つたミラボーは、極めて醜い男で彼れの眉は太く長く、顏には痘瘡の痕が一杯にあつたに、かゝはらず、不思議に人を引きつける力を持つて居たと傳へられ、又同時代の女花形として有名なマダム、ローランも其の容貌は別に美人と云ふ側では無かつたが、他人と話して居る中に、何となく愛力、魅力、即ち人を引きつけるやうな力があつて、其の旁を離れたくない感じがしたと、之れは西洋の話しですが支那の方に行きますと、莊子と云ふ古書の德充符の中にこんな話

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しがあります、「魯の哀公と云ふ人が、或る時孔子に斯様な話しを致しました、衛と云ふ國に非常に醜い男が住んで居りまして、其の名を衰駘它と申しました、此の人、顔が醜いにもかゝはらず、妙なことに、男の人が衰駘它に會つて話しをして居ると、何時迄も其の旁に居りたいやうな心持になり、又婦人が衰駘它に會つて話をして居ると、一日も二日も一緒に居たい、最後には父母に請ふて妻になりたいと云ふ心が起つて來る」と、其の他、忠臣藏の大石内藏助や、アメリカ南北戰爭の時南軍の副統領であつたスチブンス等は外容は凡庸の如くであつたが、内實は傑物であつた、又源義經、由井正雪、橋本景岳などは外見、婦女子のやうな優さ男であつたが、其の性格亦俊秀の士であつたのです、此等は何れも容貌と性格との全然相反せる例で孔子は其の弟子の中、多識秀才なる子羽が極めて惡相なるを例として「余、相を以つて人を取るに、子羽に失せり」とて、人を容貌のみによりて賴る可らざるを誡められた。

又一方、心情と、外容とが相伴ふて變轉するものであると云ふ事を述べた例として矢張莊子の應帝王の中に次の寓話が載せてあります、「鄭の國に季咸と云ふ巫者があつて、人の死生存亡、禍福壽夭を相するに、百發百中神の如しと稱せられて居りました、或る日、列子が季咸に遭ふた所、何事もよく適中するので、全く感心してしまひ、歸りて、其の師、壺子に告げた所が、壺子は、それなれば一應、明日私の所へ同道せよと命じました、翌日列子は約束通り季咸を連れ、壺子に引き合せると、季咸は室を退いてから、悄然として嘆じて曰く「あゝ、壺子先生の壽命も長くはありません」と死相の表れて居る事を列子に告げた、列子は涙を流しながら先生に其の事を話すと壺子曰く「ナァニ、あれは地文の相を示したからだ、また明日伴れて來て見よ」と、そこで二日目に又、伺候すると、今度は季咸が奇異の感をなし、「昨日の相好とは異つて、死相は無くなり、先生の壽命は長びいて來た」と告げた、壺子は列子より此の話し

を聞き「ツン、あれは天壌の相を見せたからだ、又明日伴れて來て見よ」と、第三日にはさすがの季咸も、狼狽して「オヤ〳〵これは分らない、もう一度明日拜見致しませう」と自分の方から云ひ出した、壺子は列子に「今日は太冲莫勝の相を示したからだそれで巫者は分らなかつたのである、明日もう一遍ためして見よう」と。

明日、例の通り季咸が列子に伴れて達道の聖人、壺子の前に出て一瞥するや否や、全く度を失つて、スタコラ逃げ出した、列子が追かけたが見付からない、歸つて先生に其の由告げると、壺子は「ア、今日は、弟靡波流の相を示したので、スッカリ狼狽へたと見える」と申しました、列子もこゝに始めて悟りまして、後、三年は十分に修養を積んで道に達したといふことであります。

斯様に述べて來ると、孰れが是か、孰れが否か、殆ど其の歸する所を知らない、其の俚諺、傳說の中には、夫々一面の眞理は含まれて居るが、孰れの一をも全然に信用する事が出來ない、さらば、吾々は如何にして正しき容貌觀を見出す可きか。

二、外貌的檢査と性格との關係

こんな風で、三四千年前から、東洋にも、西洋にも、種々と「人相」に關する學問がありました、相貌と性格とを結び付けて、其の人の、吉凶禍福を判斷したのであります、そこで種々樣々である人間の顏を、夫々型式に嵌め込み、例へば、四角で「同」の字に似て居る顏を「同字面」、頭頂と頤部との細く尖つてゐて「申」の字に似て居るのを「申字面」上廣く、下狹い三角形の顏を「甲字面」などゝ稱し、西洋の方では▽形、○形、□形と、三種に分け、▽形は詩人、學者、○形は法官、實業家、事業家、理財家、□形は軍人、建築家、技師、運動家、自働車運轉手、探險家等の性格に適すと云ふも、右の如き分け方は、其の根據として何等の的確な信用すべきものもなく先人、乃至今人の成功した人々の寫眞などから歸納して、何々の顏は何々の職業に向くらしいと云ふ、

感情と、常識とから推斷する迄の事で、何等學問上の價値はないのであります。尙一層滑稽なのは、色色の動物の性癖と、其の外容とを比較して、之を人間にあてはめようとの試みもあります。これも觀相家の好んで口にする所で、例へば、長い顏の人は優さしい、何故かと問へば、動物に於て、馬や羊は顏が長くて、其の性質が柔和であるのに比し、又、下顎骨が殊の外、左右に出つ張りたるはライオンや、ブルドックの相にして獰猛の性を表すと說明するがこんな他愛もない事でも智識の低級なものは迷はされて、成る程と感心し易いかも知れぬが、學問的に見れば馬や、ライオンや、人間は同じ有脊柱の動物でも、其種類、其の生活狀態が全く違ふのは言を俟たない、然らば馬や羊の顏面長く脚長きは、草類を常食とし、草深き所に入り、又猛敵に侵擊せらる場合、逸早く遁逃し得る爲で、ライオンや虎の如きは、他の弱き動物を襲ふ爲には、脚底になるべく音のせぬやう、豐肉の蹠を有し、又身體を潛め敵に近寄るに適する如き脚も必要で、更らに肉食するに最も強大なる顎骨を要する。斯の如く其の性能の強弱と生活狀態に依りて面相にも相違を生ずるのを知らずして生活法の根本的相違をなす人間に對し、別種の動物を以つて比較するが如きは愚も亦笑ふ可きであります。尤も柔和なる馬と、荒々しい馬とを調べて其處に、顏貌上幾何の長短あるかを研究するならば、多少參考になるかも知れませぬが、まるで種類の違つたものを比べてゐては、何もなりませぬ。

所が十八世紀の末葉に、スイッツルにラヴアテル(Lavater)といふ人が「人面は其の心の指標なり」と唱へて、性貌相關を主張し、人相に關する種々の說を立てました、例へば、鼻の形に就いて云へば、鼻根の隆起は一般に好爭性、鼻の中梁の高きは、人の爲に爭ふの性、鼻頭の高きは己の爲に爭ふ性なりと云ふ類であるが、元來人間の面相は、其基本が不動且、先天的なる骨格と、及び神經の微細なる振顫にだも感應する運動性の顏筋肉とより成つてゐるので

すから、それを混同して、性格なり、才能なりが顯れてゐると考へたのは固より謬見である事は申す迄もありません。このラヴアテルより約三十年後にオーストリアに、ガル(Gall)と云ふ心理學者が出て、其弟子スタール(Stahl)と共に骨相學を盛に主張しました。彼等の主張の根本は、人間の心は腦髓に宿つてゐるが其精神の種々の能力は三十有餘ありて、夫れ〴〵其中樞を腦髓中のどこかの部分に局在させてゐる、故に或る能力優秀の場合には、其中樞部も隨つて發達し、隆起するが故に之を蓋被せる頭蓋骨も亦隆起する筈である、されば頭蓋の外形を見て、其精神内容の優劣を判じ得るであらうと云ふのであります。

大體右の如き所說は、一寸理屈に適つて居る樣に聞えるが、其根本が之亦甚だしい謬見でありましてまづ第一、精神能力を三十有餘種に分劃した事は、現在の研究に依ればあたつて居りませんし、第二にたとひ或る部に於ける中樞が優秀で、能く發達して居るにしても、其は主として顯微鏡的のもので必しも肉眼に見えるやうな、組織の變化(例へば膨隆)が起らない、第三に、たとひ腦質に、多少の膨隆などがあつたとした所で、それが必しも之を覆へる骨質に影響を與ふるとは限らない、第四に、腦の組織變化は、其部の病氣による事尠くない、第五に、頭蓋骨質の變化は其骨自身の病氣によることがあつて、單に頭蓋骨のみ隆起し其の內容たる腦髓に何等の影響を及ぼさない事もある、第六に、病的の腫瘍等の爲に、其の部の腦髓組織を破壞しつゝ外面に著しき突隆を生じない時がある。されば、たとひ頭蓋骨の或る部が、大に隆起して居るとて、其部の腦髓が能く發達して居るとの論斷にはならない、然るに頭蓋骨を、上から撫でたり、眺めたり、計つたりして見たゞけで、外部の頭骨の變形がやがて內容たる腦髓との間に關係が有るか無いかは、よし、ある場合に相互關係を認め得とした所、其が果して、普通か異常か、病的であるかを診斷したりする證據とはな

らぬ、況や頭形は既に娩產の時に、多少產道の影響を蒙り、其後枕の當て方でも亦變化を受けるから、斯樣な外形この些細の點を捉へて過重視し內容を判斷せんとすることが謬りで殊に、其基本たる三十餘種の能力中樞なるもの丶信用できぬに至つては、實效の薄きは理の當然であるのであります。

併し此の系統を引いて、特に犯罪人に關する研究を開拓したイタリーのロンブロゾー (esare Lombroso) は一八七六年「犯罪者」なる著書をなし「すべて犯罪は其の犯罪者の人類學的特性に因由す」と唱へ外貌と性來とに密接なる關係を認めやうとした。而して彼はガル一派と同じく餘りに人間の先天的、不變化的の形貌に重きを置き、須臾も定りなき心理の變轉と、其の傾向とが、其の中に露れてゐることなすのが大なる缺點であります。

次にまた、彼等觀相家が好んで口にする解釋法は左右の均齊である、例へば左と右の目が、平等に發達して居て大小があつたり、顏の左半分と右半分とに不均一の所がないかどうかなど丶均り合ひを重大視する事であります。尤も、耳や目や、鼻孔や、上肢、下肢、兩脚等は、外見上にも、生理上にも、先づ無暗に大小不同の無いのが當然で、其變差の甚しきは、發育の不完全、又は生來性の變質徵候に相違なく、隨つてかういふ人の精神には、ともすると變質異常の症候の存する事は往々ありますが、そんなものは、何人が見てもすぐ目につくものです。彼等は詭辯を弄して、素人に分らぬ程の所でも其の左右均齊を細かく詳かに觀察するのだと威張るかも知れませんが、其れが一層に滑稽で、一體人間の身體といふものは、一見してこそ、左右均齊のやうに見えるが、之を解剖して調べ、その生理を研究して見ると、本來均齊のものではありません、一寸思ひつくまゝに首の方から著明な點だけ列擧しますと。

(一)人の腦髓は、左右兩半球に分れて、均齊を保つてゐるやうであるが、之を顯微鏡的、又、生理學的に檢査して見ると、聽覺性言語中樞、及運動性言

語中樞は左半球のみにあつて、右にはないのである。

(二)顔面に於ては前額部の骨に存する前頭竇といふ空洞部の左右の廣さは常人に於て、大抵、大小不同のものである。

(三)眼窩の大きさも、左右同一のことはまづ少い。

(四)鼻の眞中の隔壁、即、鼻中隔も矢張り實は左右のどちらかに傾いてゐる方が多い。

(五)軀幹に於ては、肺臟は右が上、中、下の三葉よりなり、左が上、下の兩葉より成る。

(六)心臟は左胸部にあり。

(七)脾臟。

(八)膵臟共に左上腹部にあり。

(九)胃。肝臟は隨つて左右對齊の形狀を呈してゐない。

(十)腎臟の位置は左が高く、右が低い。

(十一)睾丸の位置は左方が通常低下す。

(十二)血液及淋巴の循 環 系統が、左右均齊でない。

斯樣に大略ではありますが、人間本來的には決して左右均齊に造られたものでないので、皮一重剝げば其の證據は隨處に認められます。人體の左右均齊が正常の規則と考へたのは、醫學のまだ發達しなかつた頃の、表面ばかりを見て考へ出した事に過ぎないので、こんな舊くさい間違つた智識を土臺にして、牽強附會の說を立てようとする、彼等の愚さ笑ふべきではありませんか。

上述のやうに十八九世紀頃の研究家、即ちガル一派の諸說は、變質徵候等の方面に一進展を與へたる功は認めねばならぬとしても要するに巷間の迷信家が信仰する觀相法と、五十歩、百歩で、孰れも信ずるに足らないものであります。今迄述べた所は從來の觀相法、骨相學等の一つも信用する事の出來ない事を醫學的に辯駁しました。然らば、吾々が他人を見る時に、一瞥して、其の性格判斷をする場合に孰れだけ正鵠を得るものであるかを研究して見たいと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、人は他人を如何やうに觀相する傾向があるか

前に私は、觀相家が、好んで語る人相の解釋法の一つとして、成功した著明の人々の寫眞から歸納して、何々の顏は、何々の職に適すと型形を以つて判斷することを述べました。しかし人相見でもない、易者でもない、素人の吾々は、他人を見て如何樣に其の性格を判斷するか、又其の判斷が、どの邊迄信用が出來るか。これは嘗てホリングウォース(Hollingworth)と云ふ人が寫眞を以つて面白い實驗を致しました。

まづ二十枚の婦人の寫眞を集め、其の寫眞とは全く未知で何等の關係もない十人の學生に示し見せた而して叡智、忍耐、懇切、自負、勇氣、諧謔、僞瞞の七種の性質に就きて、幾回にも亙り、追々とその判斷を求めた。例へば、一葉の寫眞を批判者たる十人の學生に見せて、其の婦人の一性質忍耐に就いて判斷を求める、かやうにして七性質を順次に判斷せしめ、十人の判斷を平均して、其を「標準位」とし、次に各判斷者が下したる位席と標準位との差を「錯差」なりと見る時、この十人の判斷差の平均が「平均錯差」である、第一表は各性質に就ての平均錯差である。

第一表

寫眞判斷に於ける批判の相違(但寫眞二十葉 批判者十名)

性格	平均錯差
叡智	二・八六
忍耐	三・三二
懇切	三・五五
自負	三・五七
勇氣	三・六九
諧謔	三・九〇
僞瞞	四・一四

(Hollingworth)

此の表を見ると、各人の意見は叡智、忍耐の二性格に關しては比較的よく合致して、餘り錯差がないが、之れに反して、僞瞞、諧謔に就ては段々と判斷する人の考が狂ひ、他の三性格に對する判斷は其の

錯差が中等度である。

こゝに一寸語を插んで第一表の結果算出法を話しませう、女子二十人の寫眞を夫々「A、B、C……T」とし、批判者十名が右の寫眞の中の一枚、Aに就て、其の一性格、叡智に就て判斷を下し、其の席順をば9 11 5 8 9 12 7 8 7 14の位置に置たとすれば、其の總數は90で平均は9である、此の9が標準位である、即ち十人の批判者の中二人だけ平均席に判定し得たので他の人名は多少の錯誤を生じ其の錯差は

席次	9	11	5	8	9	12	7	8	7	14
錯差	0	2	4	1	0	3	2	1	2	5

で錯差の總數は20となるから、その平均は2となる、即ち此の2なる數がAなる婦人の叡智の平均錯差で、他の性格も此の手順にて算出すればよいのであります。

さて右の如き實驗に綴いて、更に吾々が、他人の容貌から其の性格を判斷するとき、其の人の各種の性質間に密接の關係を自然に考へる傾向がある、例へば、人を見て「この人は自惚れが强いぞ」と、心に思ふと同時に「そしてあまり親切心もなさそうだ」と思ひつくやうな類で、ホリング、ウォースは、此の實驗の爲に、二つの性格の相互關係をば、一定の算式に依つて計出した。

話しの序でに相關々係といふことの意味を少し述べておきませう。

今一本の金屬棒をとつて、之を熱すれば膨脹して長くなり、之を冷却すれば收縮して短くなる。即ち金屬棒の長さは、溫度の變化に伴つて一定の方向に變化するのである。かく二つの現象があつて、兩者が相伴つて一定の方向に變化するときには、その二つの現象間には相關々係があるといふ、而うして相關々係には次の二つの場合があります。

（一）積極的相關々係、二つの現象があつて、その一方が存在するときには、他方も亦必ず存在し、一方が存在しない時には他方も亦存在しないか、又は一方が増せばそれにつれて他方も増し、一方が減

すれば他方も亦減少する如き關係があるときには、此の二つの現象の間には積極的相關關係があると申します。前に述べた温度と金屬棒の長さとの關係の如きはその一例で、生物學的方面について云へば人間の身長と體重との關係も同様であります、蓋し身長の大なるものは、體重も大であり、身長の小なるものは體重も亦小なる傾向があるからであります。併し此の場合には温度と金屬棒の長さとの關係のやうに相關は完全ではありません。

(二)消極的相關關係、二つの現象に於て、一方が存在するときには他方は必ず存在せず、一方が存在しないときには他方は必ず存在するか、又は一方が增加するときは他方は夫に比例して減少し、一方が減少するとき他方はそれにつれて增加する傾向があるときは、此の二つの現象間には消極的相關關係があると申します。之を私の話、この例で申すならば、顏色の蒼白さと健康との間には、不完全ながら消極的の相關關係(顏色が蒼白くなればなる程健康と相遠ざかる)があるのであります。此位で相關關係の概念は御分りになつた事と思ひます。それで話しが前に戻つて、二つの性格、卽ち忍耐と勇氣等の相互關係を、一定の公式に據つて算出し、計出された數をば「相關係數」と申します。而して、此が「1」ならば、その二つの性質が、積極的相關關係の完全である所謂互に最も密接な關係の深い事を示し、反對に「-1」(マイナス一)なる時は消極的相關關係が完全である卽ち、兩性質は全く相反する關係なる事を示し、兩者間に何等の相互關係が絕無なる時は「〇」となる、今ホリング、ウォースの計出した、各性質間の相關係數は第二圖の通りであります。

第　二

忍耐	懇切	自負	勇氣
.39			
.08	-.56		
.79	.72	-.25	
-.03	-.69	.66	-.49

Holling Worth

表

	叡智	評論性
評論性	·47	
忍耐	.88	·33
懇切	.86	.65
自負	·28	.03
勇氣	.89	—·43
瞞着	—.11	—.28

こゝに又例によりて、第二圖の相關係數の算出法を簡單に説明することゝ致します。

今、「勇氣」と「懇切」なる兩性質間の相互關係を見んとすれば、被檢者たるべき寫眞の數は、矢張り二十葉「AB……T」とし、其の内Aなる寫眞が判斷者の査定により勇氣に對して、第二位に立ち、懇切に對しては第五位とすれば、其の「2」と「5」との差「3」とし其の二乘は「9」となる。而して、是等の數を合計し符號「Σ」を以て表し、被檢者の數（こゝでは二〇）を「N」とし。

$$r=1.00-\frac{6\Sigma D^2}{n(n^2-1)}$$

r＝相關係數
D^2＝二ツの系列の順位の差の自乘
Σ＝總和
n＝測定の個數
（スピアマン氏の列位差法(Method of Rank-Difference)

この式を用ひて計算すると左表の如き手順になる。

寫眞	勇氣	懇切	D	D^2
A	2	5	3	9
B	5	1	4	16
C	10	13	3	9
D	1	4	3	9
E	7	6	1	1
F	11	8	3	9
G	14	10	4	16
H	20	15	5	25
I	16	12	4	16
J	4	2	2	4
K	8	14	6	30
L	3	3	0	0
M	12	20	8	64
N	15	11	4	16
O	17	18	1	1
P	9	7	2	4
Q	6	17	11	121
R	13	9	4	16
S	18	16	2	4
T	19	19	0	0

$\Sigma D^2=376$. $376\times6=2256$. $n=20\therefore n(n^2-1)=20(20^2-1)$
$=7980\therefore r=1.00-\frac{2256}{7980}=0.72$

即ち此の實驗に於ける二十葉の寫眞を見ての、勇氣と懇切との判斷に於ける、相關係數は〇・七二となりて、一・〇〇に近く所謂積極的の相關關係がある、換言すれば、人は勇氣ありと判斷する時に、同時に其の人は親切だと思ふことも伴ふて多い、といふ事を意味するので第二表は斯樣にして計出した表であるのであります、これで見ると叡智と忍耐と懇切と勇氣等の相互間には、何れも相關係數の價が高く、之に反して瞞著と自負と上記の諸性質との間に

は負數の價が出るか、又甚だ低價を以つて表れ、所謂相反するの傾向を示して居る、たゞ見逃すことの出來ぬのは、自負と瞞著との兩者間は却つて高價〇・六六を見して居る所は益〻面白いではありませんか。

上述二種の實驗から今迄の話しを約めて一口に申しますと、次の二ケ條の結論となります。

(一)吾々は、他人を一瞥して、其の性格を感知せんとする時、一般に叡智や忍耐や、親切心等の性質に對しては相互に同じ様な批判を下す。

之れに反して僞瞞心や諧謔性や、勇氣に關するものは各人の判斷が區々で、とかく一致を見ない。

(二)吾々が他人を觀相する時、其人の各種の性質間に密接の關係あるものを考へ浮ぶことが多い、就中、叡智、忍耐、懇切、勇氣は、相互に相關係數高く、又自負心と僞瞞性との間にも相關係數は高いが前者と後者との相互間には係數甚低く、又負數を呈する事が多い、換言すれば、叡智や忍耐、親切、勇氣等の良き諸性質を有する人には、自負、僞瞞の如き不良性を有すると云ふ判斷を下されること少く同時に自負の強い人に親切とか忍耐等の良性質を有する人だと思はれることが少い。

四、各人判斷能力の不確實

以上二種の實驗は、之を心理學的に見るとき、甚興味深いものであるが、更に之を實社會の問題としては、一層、その實用的價値を判定して置く必要があります。何んとなれば、吾々が他人を見るとき、一見して大に人好のするのもあれば、反對に毛嫌ひを感ずる場合もある。一體に此の傾向は男子より女子の方が甚だしい、勿論、女子はかういふ方面の觀察力の非常に鋭いもので、私共男子は、電車等に乘りましても旁の人がどんな服裝をして居たか、どんな下駄を穿いて居つたか分らないが、女の方は、數秒の中に、頭の上から足の先迄分つて仕舞ふ。そこは婦人方の特長であります、かうして初會見の時に多少、反撥的の感じを抱いたとしても、暫く交際し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

てゐる中に、追々と初めの感じも薄らぎ、却つて親交を結ぶに至るやうな事もありますが、最初の印象が少しも變らずに終始し互に氣が合はぬといふ事も可なりにあります。何故かと其の理由を穿鑿した所で、本人自身も分らぬ事が多く、唯だ感情とか、氣分の問題とでも云ふの外ないのであります。しかし右のやうな、感情や氣分が起ると云ふことを輕々に看過してはなりませぬ。何となれば、身に立派な技能を持ち、心に愛す可き性質を持つて居ながら、長者の眼に好感を與へなかつた爲、前途は塞がれ、永く才能を發揮し得ない事もあり、啻に其の本人にとり、不公平、不滿足を與へるのみならず、社會的にも人物の不經濟、能力の浪費を來たし、互に能率上に大損害を招くことになるのであります而してかゝる惡習は現在でも多く行はれ、單純極まる「御目見え」式の會見で、採用不採用が決せられ、好感、不快感を抱かれる事により總ての雇傭關係や師弟關係が結ばれるやうですが、實に戒む可き事だと存じます。

アメリカのリウシイ、ジイ、コーガン（Lucy G. Cogan）と云ふ女文學士が觀相と實際との關係につきまして次のやうな實驗を致しました。まづ要領を申せば。

一、材料（卽、被觀相者）として。

A、大學程度の女學生二十五名及其の人々の寫眞を用ゐる。

B、寫眞は、一人一人、別々撮り、又その撮影法や態度等、皆一樣式を以てす。

二、批判者（卽觀相者）。

A、上記二十五人中の誰か一人が、替る〳〵材料となり、殘り二十四名（卽かれて熟知の朋友共）が其性格判斷をなす

B、右の二十五人の女學生とは全く一面識なき二十五人の男子をして前述の女學生の寫眞判斷を行はしめし事。

C、同じく全然面識なき二十五人の婦人をして寫眞判斷を行はしむ。

三、判斷せむとする性質は次の十種類。

奇麗好き、自惚れ、愛相好きか、面白い（諧謔性の）人か、人好がするか、利口、上品、美人、氣取り屋、下品。

四、そしてこれらの各性質に關する寫眞を見ての判斷と朋輩同仕

の判斷との相關係數をとつて見て、どの程度迄一致するかと知らうとした。

右の如き方法を以つてすれば、上述の十種の性質に對する三通りの判斷が表れる、第一がかねて交際して、御互に、其の缺點も、長所も分つて居る朋輩同士の判斷、第二に全然未知の男子の批判、第三は全然未知の婦人の判斷があります。

此の實驗の結果は第三表のやうな數字となつて表れました。

第三

比較／性格	朋輩二十四人の判斷との相關係數　未知男子二十五人の判斷と	未知婦人二十五人の判斷と	平均
奇麗好き	.〇三	.〇七	.〇五
自惚れ	.一〇	.二七	.一九
愛想好きか	.二九	.二九	.二九
面白い諧謔の人か	.二一	.四五	.三三
人好きするか	.三〇	.四五	.三八
悧口	.四二	.六一	.五一
上品	.五〇	.五二	.五一
美しい	.六〇	.四九	.五五
氣取り屋	.五八	.五三	.五六
下品	.六一	.六九	.六五
平均	.三六	.四三	.四〇

Lucy G. Cogan

圖

これによると、性格判斷は其性質の種類によりて昵懇者の判斷と、無面識者の判斷との間に、可成り甚しい相違がある事が發見されました。殊に處世上、多くの人の中に入り交りて、立ち働く職業のものにとつて甚だ大切である、奇麗好か、自負心强きか、愛想は如何、氣輕るな面白き人か、人好きする性質か、の性格に關しては極めて大なる不一致があります、これではまるで實際的の價値はないのであります、唯だ悧巧、上品、美しいか、氣取り屋か、下品なりや等の諸性質に關しては相關係數も高く昵近者の見る所と、初會見の人々の感じと符號して居るやうである。然らば斯樣な相關係數の高い諸性質に關しては觀相も多少信賴しても差支へ無ものであ

りませうか？。これも亦私には輕卒に然りと答へる事が出來ないのであります。

世間の實際に於きまして、人を雇ふには、大抵一人か二三人位が各自勝手な判斷を下し、決して十人乃至數十人の會議制で採用するものでありません。上述の平均判斷に於きまして、これ〳〵の性質ならば比較的實際に近い見當がつくとしたところで、更に、各批判者の正確の程度を調べて見なければ役に立たないのであります。此れが實驗としまして、先の寫眞判斷をした五十人の批判者の中から、任意に十人だけ選んで、それに1 2 3……10迄の番號をつけ、悧巧、奇麗好き、愛想好しの三性質に就て、平均値と、どれほどの相關率を示したかを計出した所、第四圖のやうな結果が表れたのであります。

寫眞判斷を行ひたる各批判者の正確度に關する相關係數

批判＼批判者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均
悧巧	・五一	・一一	・一五	マイナス・二七	・〇八	・四三	・〇四	・三九	・二二	・三〇	・一九
奇麗好き	・一一	・〇	・二九	・〇六	・二四	・四一	・一一	マイナス・〇九	マイナス・〇八	・〇二	・一一
愛想好き	・三九	・〇八	・〇五	・四九	・〇八	・二八	・〇二	・三二	・〇〇	・五五	・二三

此の表を見て、如何に各批判者の判定に甚しき相違があり、如何に、一般に亙りて相關係數の低きかを知ることが出來たか、最高率のものですら、漸く〇・五五で、低きものに至つてはマイナス〇・二七と云ふ負數もあります。殊に注意すべきは、同一の批判者で、或る一性質に對しては、可成りの好成績を擧げても、他性質に關しては、極めて惡るい成績を

示して居る。要するに眞の鑑識力とか、判斷能力、と云ふものは、批判者の何れにも求むる事が出來ない、此の實驗に於て、吾々は、他人をば一瞥し、又は初めて寫眞を見る時、相手の容貌を通して、性格の判斷を試みんとするは、各人各個に、大なる懸隔甚しき逕庭の存するもので、全く信頼する事は出來ないと云ふ證明を得たのであります。

既に是の如き、結論に達した以上、今迄の人相判斷が信頼するに足るか、たらぬかと云ふ疑問に對しては、上述の實驗の結果、科學的の論斷を以つて見ても、骨相學や、觀相法等では、何等の標準がとれないと云ふ事が、最も明瞭に證明せられたのであります。

こゝに於て、吾人は、百尺竿頭、一歩を進めて現代の科學的個性判定の方法を研究しなければなりません。

五、科學的個性の檢查法

最近、世界各國に、八釜しく研究されて居る、「個性」の研究は、勿論、今迄御話した骨相學等の夫等とは、全然趣きを異にし、心理學上の立場からと、醫學上の立場から、科學的に、實驗的に、人に就て色色の檢査をなし其の人が、どんな性質であるかと云ふ事を、見出さうとするので英語で「テスト」と申しますが「檢查」の意味であります。

「テスト」には

一、精神檢查（メンタルテスト）
- 各種精神能力檢查
- 一般智能檢查
  - 個別式
  - 系列式

二、教育檢查（エデユケーショナル、テスト）

三、職業檢查（ボケーショナル、テスト）

の三種に別ける事が出來ます（詳說は後日に讓る）。

要するに心的能力の一部面、又は一般を、實驗的に決定する、換言すれば、精神の、具體的特質を科學的に測定するのを申すので有まして、現に東京では神田橋の市設中央職業紹介所の少年相談部では、子供達の「テスト」をやつて、其の心的能力を、一定の標準に照して、量的に測定して、其の結果をもつて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

教養法なり、學校選擇なり、又は適職に向けて一般子弟の相談に與づかつて居ります、又淺草の煙草專賣局では、職工雇入れの際は、矢張り「テスト」を使用して、其の性質、其の作業の鈍なるか敏なるかを檢査して採用を決定することになつて居り、東京市の電氣局では電車の乘務員卽ち、車掌や運轉手の性質を檢査して採用することになつて居ります。此の方は主として私が研究して居るので御座います。其の他、電話局、鐘紡、倉敷紡績會社、星製藥等、人を大勢使ふ所では、能率增進と、人物經濟の上から頻りに研究して居ります。而して個性研究は既に言論の時代を過ぎて、愈々實際的の價値ある研究、實驗の時代に入つて居るのであります。

今や精神檢査に對する理解の要求は、各方面に漲り識者は、人及事業の能率增進を計つて居るのに、未だ昔風の觀相や骨相や墨色判斷等學問上價値なき迷信的なものに惑はされて居るとは、あまりに時代錯誤ではありませんか。

然らば『テスト』とは、どう云ふ風にして行ふか、と申せば、是の試驗の仕方は澤山ありまして、一々に申し上げる事は出來ませんが、極く分り易い簡短なるものを述べると、圖(略)のやうな箱に五つの穴がありまして、別に、銀貨のやうな五種の「メタル」が、各々十個宛、合計五十個あつて、大さと厚さとが異るので、被驗者が其の「メタル」を掴んで、此の箱に入れやうとするが、其の穴に巧く適合しなければ、他の四つの穴には、どうしても入らない、そこで、悧巧な、鋭く發達して居る者は、一つ掴み上げて來て、其の「メタル」の入るべき穴に入れて仕舞ふが、鈍いものは、あちらこちらに入れ見て、漸くにして、適合した穴に入れる、ですから鋭敏な者は一分位で、入れ終るのに、鈍感な者は、二分も三分もかゝりて漸く作業を終ると云ふ樣な次第で、彈丸檢査工の作業にも、これに類した檢査法を用ゐてゐます。又「マッチ」工場で箱の中に軸を五十本入れると云ふ樣な場合に、一寸掴んだ瞬間、觸覺の感じて、

其が五十本であるや否やが分るが、鈍な者は、或時は三十本摑んで見たり、或る時は六十本摑む、斯樣に玩具のやうではありますが、單なる五種の「メタル」を、五種の定りたる穴の中に入れると云ふ檢査ですら次の五種の性能を要求して居るのであります。

(イ)視力の完全なること。

(ロ)視覺の辨別の鋭いこと。視力の完全だけでは不充分で、厚さ、大さを迅速に見分ける必要がある。

(ハ)反應運動の迅速なること。誤つて他の穴に入れた場合　直に拔きとつて適合した穴に投入せねばならぬから、反應運動の速い事が必要である。

(ニ)注意の動搖せぬこと、「メタル」は、同色の金屬で、一方、縮の穴は圖のやうに、圖のやうにあるから、注意が動搖して、作業を遲延せしめる。

(ホ)運動の正確なること、反應動作の速なる外、「メタル」を圖のやうな方向の異る穴に入れる故に是亦必要である。

次に又記憶の檢査、即ち物覺えが善いか、惡いかと云ふ試驗につきましては、窓のやうな所に、黑板の如きものに、一、三、二、九、とか、ア、キ、ユ、チ、ソ、と云ふやうな、何も連絡のない字、又はШ ШШШの圖を書いて、一定時間之を被檢者に見せ、直に幕を締めて、今どんな文字が記されて居たか、と原印象を再生せしむるので、之は電車の運轉手などは、信號を早く見て、注意事項があれば、機敏に處置せねばならない、又言葉が能く言へるか、言へないか。是も電車の車掌などには、最も必要で、隨分車掌の云ふことは、御客さんに分りません。それは「ラリルレロ」の試驗をしたり、「瑠璃も玻璃も照せば光る」とか「農商務省特許局長」とか「坊主が屛風に坊主の繪を書いた」などと、舌の廻り惡いやうなことを試驗し、之が云へなければ、言語の試驗には落第する。

是等は極く簡短な「テスト」の一部分で、此他種々の方法で試驗をするのであります、斯如くにして、科學的個性檢査は、何れの國でも研究され、實施さ

れ、適材適所の選擇をして居ります、我國でも海軍を初め陸軍、遞信省、其他上述の民間工場でも盛んに實行せられ、個人的にも、國家的にも、乃至社界的にも、人物の經濟能率の增進を計つて居ります。斯様に今日は科學的に、實驗的に、其の性格なるものが檢査せられて居る以上、學問的何等の價値ない、骨相學や、人相見等に迷はされてはなりませぬ。

叢談

食物と容貌

ローラ、ケント、マーソン述

志田元秀抄譯

皆さんの召上る食物は、皆さんの身體になるのです。それ故に、美しくならうと思ふには、美を助成する食物を攝らなければなりません。

私は奇術師ではありませんが、皆さんが通常何んな物を召し上つて居るのか、お話し下さいますならば、あなた方の似顔を書いて、御覧に入れます。えらさうなことを申し上げましたが、何の不思議もありません。食物はその人の健康、容色に大なる關係を及ぼすものであります。それで丈夫にならう、美しくならうと思はれる方は、毎日の食物に注意を拂はなければなりません。

先づ第一は痩、肥の問題であります。實際云はなくともわかつてるのに、肥つてる女は「私は何故こんなに肥つて居るのでせう‥‥痩せてる人と同んなじにして居るのに」とよく云ひます。それには近頃發刊になつた良い本が二つあります。これは肥り過ぎて困るとか又は痩過ぎて困るとか云ふ人は共に、一讀すべきものであります。卽ち一つはワンス、トムプソン氏著の「食物と肥胖削減」で、もう一つはルルピーターース夫人著の「食物と健康」でありますが、どちらかと云へば後者をお勸め致します。

然し、たとへ食物に關する本が無いにしても、常識で考へて判斷するのが、あたりまへだらうと思ひます。總て肥る食物は主として次の三要素より成つて居ります。含水炭素、脂肪、蛋白これであります。それで瘦せようと思ひになる方は、食をとる前に含水炭素と、脂肪と、蛋白がどの位含んで居るか一考して、若し多量に含有して居るならば、比較的少量の食事を攝ることに氣を附けねばなりません。若し肥りたいと思はれる方は反對に、脂肪を增加する食事を多量に攝るべきであります。

馬鈴薯を食べると黑目が濃くなると云はれて居ります。馬鈴薯の主成分は澱粉であります。その上牛酪、肉汁、等で調理すれば更に滋養分を增すわけです。然しながらパンばかり食つて馬鈴薯のやうな所謂肥る食物を攝らなければ顏が美しくなるなど、早合點をしてはいけません。反つてパンの方は七十五「パーセント」の澱粉を含み、馬鈴薯の方は四十「パーセント」の澱粉しか含んで居ないのであります。

勿論、糖分は所謂肥る食物であることは御存じの筈です。牛酪もその通り。瘦せやうと思つて、かう云ふ種類の食物を攝るは馬鹿げた事ではありませんか。あらゆる新鮮なる野菜、あらゆる「サラダ」類滋養分少き食物、少量の所謂肥る食物等は肥えてる人の食物にふさはしいものです。肥えたる人は不知不識の間に滋養分を多量に含有する食事を攝り易く、瘦せたる人は自然自然に、滋養分の少きものを攝り勝であります。そこです。私が、前に、食物によつてその人の顏がわかると云つた理がお理りでせう。

然しながら肥る瘦ると云ふことは滋養物を攝る攝らないよりも、むしろその人の攝る食物の量の多少によるものです。

瘦せたがる女はまた「自分は夫と同じに食べてゐるにもかゝはらず、私ばかり何故肥つて居るのでせう」などゝこぼしますが、實際見て居ると、パンなり牛酪なりを自分の身體に不要なほど食べて居るやう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

であります。これを見ても、すぐどうすれば痩せるかはおわかりでせう。

又痩せようと思ふには、適度の運動を怠つてはなりません。少くとも、毎日そちらこちら歩き廻らなければなりません。そして引續き入浴して身體をよく擦ることです。又滋養物所謂肥る食物を少量に攝ることに心がけ、多量の野菜類を召されるやうにしなければなりません。

肥りたいと思ふ方も、何も面倒なことはありません。痩せたいと思はれる方の反對になされればよい理です。牛乳、鷄卵、肉類、牛酪、クリーム等を召し上り、又サラダその他野菜の油揚類を食べることであります。

これで問題は解決したわけです。然しこれは單に痩、肥に關係するばかりでなく、また美に大なる關係があります。

容貌と云ふものは、上から、なでたり、こすつたりするよりも、食物によつて整へられるものであります。

胭脂やお白粉もありますが、それは娘さん等のやることで、且つ、缺點を隱す最後の手段であります。然しこの缺點は食物で容易に直すことが出來るでありませう。

あなたの顔は脂じみて居やしませんか。毛髪はどうです――眞黑ですか。膚はどうですか。顔にお白粉をつける時に、こまることはありませんか。面皰は澤山出て居ませんか。さういふ人には私はかう言ひたい――あなたは物を食べ過ぎます。こんなことを申すと、「異つて居る。私は食ひ過ぎなんか致しません」と答へられるでせうが、私は決して間違つた事は申しません。私が今述べた樣な肌合の顔の方は、たしかに身體に不要な程食べて居るのであります、年をとるに從つて惡い習慣に陷ち入る人も無いではありません。事は初が大切です。後の憂を絶たんと欲するならば、最初よりの注意が肝要であります。食物の注意によつて鼻の恰好は直ほせなくとも、皮

腐位は確によくすることが出來ます。
冬期には「フライ」の類もよろしうございますが、夏は、ひかへ目にしなければなりません。殊に脂肪氣の多い若い女達は、こんな物を食る必要は更にありません。「フライ」になんかせずに他に食べ方がありますでせう。

あなた方が完全なる皮膚を持つて居ない限りは、嗜好物をおよしなさい。そのかはりに新鮮なる果物を召し上りなさい。あなたの皮膚を摩つたり、「クリーム」なんかぬりつけるよりは餘程早く美しくなること承合です。

次に最も美を害ふ食物は何かと申ますると、びつくりなさるでせうが先づ第一は砂糖菓子でせうな。實際甘いものを好む人に美しい人と言ふ者は少ないものです。この砂糖菓子類の中で最もいけないのは「フランスチョコレート」、第二流としては所謂固形「チョコレート」であります。我々が日常口にする「ミルクチョコレート」でさへあまり結構なものとは云へません。無論程よく召すのはこの限りでありません。然し少量の砂糖菓子でさへも美を害ふと言はれて居ります。砂糖菓子類は便祕を起しまして、ぼんやりした容貌になりますし、又面皰が出ます。それでよく氣を附けて、か〻るものは、なるべく口にせぬ方が得策です。中には非常に美しくて、また非常に甘い物を好きな女がありますが、これ等は例外であります。一般から言へば、林檎のやうに美くしい膚にならうと思へば自分は林檎を食ひ、他人には「チョコレート」でも食はしておやりなさい。

もう一つ私は美しくなる祕訣を知つて居ます。たつた一つです。おどろいてはいけません。水です、水を飲むことです。何のために水を飲むかと反問される方があるでせうが、水には鐵分若しくは、硫黃に類したものが含んで居ます。どこそこの水は大變によいなど〻申しまして湯治に行くやうにして水を吞みに行く方もありますが、そんな必要はありません自分の家の水でよいからお飲みなさい。毎日コップ

に八杯も飲みなさい。これが美しくなる祕訣です。いならもつと澤山お飲みなさい。水は體內の不淨物を洗ひ流します。「ロイマチス」を除く助になります。皮膚を滑かにします。眼を生々と輝かせます。

又水を飲むと同時に、沐浴を怠らずやりなさい。一日に一回でよいのですから、朝起きたならば冷い水で顔を洗ひ、口をそゝぎ、次にコップに二三杯の水を飲みなさい。その際は一二滴の「レモン」を落すのも御隨意です。

乾葡萄、無花果、棗等は滋養分に富んで居ますが所謂美しくなる食物であります。滋養分に富んで居ると云つたところで砂糖菓子のやうなものではありません。特に鑛物質が含まれて居るのでよいのであります。次は牛乳でありますが、肥らうと思ふ方にお勸め致します。

今まで長々申し上げた外には、もう云ふことがありません。最後に繰返して申しあげますが、野菜と菓物を召し上りなさい。「フライ」なんかは忘ておしまいなさい、そうして內より輝くあなたの美を誇るべきです。臙脂やお白粉をぬる必要はありません。

「ヴィタミン」と健康並に疾病

エムメット述

近來榮養問題に於て「ヴィタミン」と云ふものが重要なものとして盛に論ぜられるようになりましたが、それは一體如何なるものであるかと云ふ概念を得むが爲に、ドクトル エー、デー、エムメット氏が本題に就て述べた所を一部分抄出して御紹介致します。

「ヴィタミン」を論ずる場合には吾人は基本に於て榮養の問題、即ち細胞代謝の問題を取扱ひつつあるなり、若し吾人が羸弱となれるか若しくは消耗せる細胞の構成を刺戟することを得ば、吾人は疾病を妨止し且つこれに打勝つべき助となる有力なる武器を所有するを得るや論を俟たず、夥多の病的狀況に於て正常細胞代謝を刺戟する方法は先づ第一に特殊の投藥により、第二にその榮養に依ることとなり、而

してこの二者は常に相關聯し、時にその一者が優越因子となり、又時に他の一者が先行因子となるなり。

現今に於ては多數の醫家は食餌の成分卽ち蛋白質、脂肪、含水炭素及び鑛物性鹽類の調和平衡を得る事を以て治療上榮養の要點となせり。若し是等四因子にして適當に質的竝びに量的に配合せらるゝときは「エチルギー」の必要量と組織構成要素とは適宜に供給せらるべしと考へたり。

然れども榮養上の新見地よりすれば、吾人は尙ほこれに附加的榮養簇卽ち「ヴィタミン」を算入せざるべからざるが如し、何となればこれ無くしては、後章に於て說けるが如く基礎的代謝過程は著しく阻害せられ、ために正常生理的の律動竝に繼續は生起せざればなり。

「ヴィタミン」の發見

約三十五年乃至四十年以前に於て脚氣（脚氣は東洋に於て極めて流行せる末梢神經の疾病なり）の病原が食物の缺點に基因することは日本人によりて發見せられたり、次でアイクマン氏は家鷄を白米を以て養ひて實驗的に該疾病を惹起するを得たり、その後フレーザー及びスタントン兩氏は鳩に於ける該疾病卽ち多發性神經炎を妨止し且つこれを治療する物質を米糠より抽出したり。千九百十一年に至りてフンク氏は尙ほ該物質を濃稠ならしむることに成功せり、而して事實、フンク氏はこれを以て有效原質を分離したりと思考したれども、爾後研究の結果その謬なること證明せられたり、フンク氏は該物質の化學的分析の結果その「アミン」の特性を示せる鹽基簇を有することを見たり、而して該物質は生命に對して極めて重要なるが故に氏はこれを「ヴィタミン」(Vita-amine)命名せり、

この「ヴィタミン」は脚氣に關して特異なる關係を有するものなり、故にこれを抗脚氣「ヴィタミン」若しくは抗神經炎「ヴィタミン」と稱せらる、かくして吾人は所謂「ヴィタミン」に關する食物の缺點より來

たる疾病につきての最初の確例を得たるなり。

ファンク氏は更に恐らくは他の疾病に同様に特異なる作用を致すべき「ヴィタミン」の存在するものならんとの意見を有したり、同様の意見は恐らくは英國のホプキンス氏もこれを抱けるなるべく、ホプキンス氏は一千九百六年に左の如く記せり。

「動物體は植物組織若しくは他の動物體組織を攝取して生活するが如く構成せらる、而してこれら諸組織は蛋白質、含水炭素及び脂肪以外の無數の物質を包含す、生理的展開は思ふにこれら諸物質中の或るものをして、その食物の主成分の如く重要たらしむるならん、例へば「レチチン」は榮養上顯著なる影響を及ぼすこと既に反復して證明せられたり、而してこれはたま〳〵既に吾人の熟知せる事柄に對して、既に試みられしことに就きてのことなり、この領域は殆ど未踏の地なるが、現に確實たるは、總ての食餌中に身體に干與する數多の小因子あることのみなり、佝僂病の如き、又特に壞血病の如き疾病に於ては吾人は久しき以前より、それに食餌性因子の原因するを知れり、然れども吾人が如何にしてこれに資すべきかを知れるにも拘らず、實驗的に食物の割合の誤謬は今日に至るまで全く不明に屬せり、然れどもこれらは恐らくは余の思考する僅かの質的因子を包含するものならん、壞血病及び佝僂病はその情態極めて劇しきため吾人の注意を惹くものなれども、他の數多の食物の誤謬も矢張り、かなり顯著に健康上に影響を來すものにして、その中の或るものは思ひもかけざる食物上の因子にあるならん。

(Lancet, 31, 1906)。

爾來研究の盛になると共にホプキンス氏は一千九百十二年の報告によりて、白鼠にありて、正常に發育せんがためには、從來の古典的の食物榮養のみならず更に尙は乳汁中に存する或る成分の少量を要すべきことを發表せり、これ卽ち發育助長「ヴィタミン」發見の端緒なり、一千九百十三年にマッカルム及びオスボーン、メンデル諸氏は各自獨立して發育竝

びに身體狀態に關聯せる他の因子あることを明暢に示せる結果を報告せり、このものは或る種の脂肪及び油中に存し且つこれを溶解すること發見せられたり、而して上述の「ヴィタミン」はこれに反して水に溶解するものなり。

これら須要因子の溶解性に基づきて、マッカルム氏は脂肪溶性A及び水溶性Bなる分類を示せり、他の研究者はこの分類を一部分採用し尙ほこれに「ヴイタミン」なる語を附して呼び、或は又食物覺醒素なる語を附し或は附加食物要素なる語を附して呼べり。抗脚氣「ヴィタミン」は一時水溶性Bと全く同一ならずとするも極めて類似せりと思考せられたり。

「ヴィタミン」にはこの二種類の外にリスター研究所のドランモンド氏の命名に係る第三の水溶性Cあり。該「ヴィタミン」は壞血病に對して特殊なる作用あるものゝ如し。

禁酒法令の健康上に及ぼせる影響

ストッタルト述

醫學士　T　I　抄

北米合衆國禁酒同盟の記錄係コラ フランシス、ストッタルト女史が一九一六年から一九二〇年に至るまでの「アルコール」中毒に因る諸種の疾病死亡率より乳兒の死亡等に關して重要な報告をされて居りますので、茲にその大要を抄譯して御參考に供します。

（一）「アルコール」中毒死亡者の減少

一九一七年、卽ち宣戰が布告されて「アルコール」販賣の制限が行はるるに至りて以來酒精中毒死亡者の數は著しく減少したり。一九一六にありては該死亡者の數は平均一週間に一三名なりしものが、一九一七年後半期に於ては尙ほ一〇名、一九一八年には急減して殆ど四名となりたり。而してニューヨークに於てはストッタルト女史も述べてある如く、禁酒

法令の實施は不完全なるにも拘らず尙ほ且つ顯著なる效果を示せり。即ち一九二〇年の暮に至るまでの一八個月の禁酒期間に於て、酒精中毒死亡者の皆無なりし週は二一週以上にも達し、一九二〇年にありては一週間の該死亡者數は僅かに一名强なり。これを一九一六年の一週間平均一三名に比して實に驚くべき程の減少と云ふべし。一九一六年に於ける酒精中毒死亡者總數は六八〇名にして、一九二〇年には六九名に減ぜられたり、即ち約一〇分の一に減少せるものなり。

(二)肝萎縮に因る死亡

肝臟萎縮は一般に酒精中毒に原因するものなりと認めらるるものなるが、該死亡者は一九一二年乃至一九一八年に於ては一個年平均七二三名なりしが、一九一九年及び一九二〇年に於ては約半數、即ち三七〇名に減少せり。

(三)ブライト氏病及び腎炎に因る死亡

一九一二年乃至一九一八年に於ては該死亡者は五八四九名にして一九一九年及び翌二〇年に於ては四八五四名なり、即ち一七「プロセント」の減少を示す。

(四)小兒死亡

ストッタルト女史も云へるが如く兩親の飮酒が子供の死亡率に及ぼす影響に就ては諸種の說ありとするも、要するにその惡影響を及ぼす原因としては、一には飮酒の費用を浪費するために家庭內經濟を不如意ならしめ、惹ては母親と子供の生活狀態を不利にし不健康に導くに因ること、尙ほ他の原因としては、多數學者の信じ居るが如く、酒精の細胞に及ぼす直接影響、即ち生殖細胞を直接に害するに基くものと思はる。ストッタルト女史の示せる統計數字を觀るにこの豫想は正しく裏書されたるものと云ふべし。即ち一九一五年より一九一八に至る期間にありては平均一二九七七名の小兒死亡を出せるに比して一九一九年及び一九二〇年にありては平均一〇九八九名に減少せられたり、即ち一・五三「プロセント」の減少なり。其內一個月以內の死亡數も同樣五二七三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

名より四五八八名に減少せり。即ち一三「プロセント」の減少を見るなり。而してこれ等の數字は絶對數なるが故に、出產數に對する小兒死亡數の割合を示せば、一九一五年乃至一九一八年に於ては平均九三なりしものが、一九一九年及び翌二〇年に於ては八四に減じたり。

かく最近二個年に於て禁酒が直接間接の原因となりて、幾千の家庭は家庭經濟上並に健康上の損失より免れ得たるものにして、その改善されたる社會上の事實に就ては實に一顧に値するものと思ふ。

育兒

子守の話

醫學士　竹内　薫兵

我が國では乳母と子守とは兒童養育上、或は敎養上にも極めて大切であるが、あまり注意を拂はず、殊に子守に就いて迂濶に考へてるのは非常な間違である。子守のために惡習慣もつき、惡るい病氣も起こり、ひどい怪我も或はせずに濟むものである。

子守自身に病氣があつてそれは子供に傳染する事もあるが、それで無くとも子守は公園や、寺や神社家屋建築場の廣場などへ行くもので、其處には外の子守達も子供をつれてやつて來る。そこで百日咳の治りきらないのや、痲疹の熱のあるのや、肺炎になりかゝりの子供なども其中に交つて居る。そこで御互に病氣は傳染するし、又無垢の子供は傳染されるのである。それから又乳母にもある癖であるが、子守は子供の泣くのを厭ふて、泣かすまい〳〵とする結果、飮食物を規則正しく與へない事である。表面規則正しく與へる樣な顏をして、其實泣けばやり、むづかれば與へると云ふ事實をやつて居る事が隨分多い。其れが病氣の原因となる事は勿論である。又

子供の年齢に頓着なく自分の食べて居る南京豆でも鹽煎餅でも子供の欲しがるまゝに與へて子供が其結果病氣となる事もあるし、子守自身の立話の都合で寒風に吹き曝されながら一時間も背負はれて居て肺炎にかゝつた實例もある。

此外子守から直接に病氣が傳染して、子供はとうとう死んだ例や、疥癬の傳染つた話や、肺病になつた例は數限りもなくある。唐澤博士の經驗だと云ふ話を聞いた事があるそれは或る田舍で子守が子供を常に駄菓子屋へ連れて遊ばして居たゝめに、蜜柑を袋ごと澤山喰べさせて、子供は腸閉塞又吐糞病と云つて、腸が塞がれてしまひ、遂には腹が太鼓の樣に張つても大便は少しも出ず、吐く事は止め度もなく吐いて、遂には糞まで吐き、結局外科の手術も間に合はず、死んで終つたさうです。無智なる者責任の考無き者誠實でなく、同情心なきものは如何ともしがたいとはいへ、現今の子守は餘りといへばひどい。何とか方法を講じて精神、智力二つながら進ませる樣な仕組を欲しい。子守學校の如きは頗る手緩るいと思ひます。然し行はないよりましかも知れませんが、私の考へではこれを學校などにしないで、各家で主婦が自ら子守を感化し、教養するが最良の策であると思ふ。それが出來ない樣な主婦ならば、子守の行に對して不滿を抱く前に先づ自らを教養する事に努めねばならぬではあるまいか。

一體主婦の不在中といふものは、子供に種々な事の起るもので、ともかくも、日々の子供の事故の少ないのは、子供にのみ托してあるとはいふものゝ、主婦の監督のあるためといふ事が判る。子供が泣くからといつて、菓子。それも年をも身體をも考へないで、饅頭、せんべい、あんぱん、などを與へ、甚だしいのになると「らつきやう」梨子などを與へる事のあるのは、主婦の留守の時が多い。何も食べさせない筈の子供に、灌腸して見たら小豆の皮が澤山出て來たり、澤庵がその儘出て來たりして驚く事がある。子守にはよく／＼注意しなくてはならぬ。

玆に「小兒教育氣質」といふ本がある。安政二年、永井堂龜友の著で、今年大正十一年からは百五十年程前に出來た本であるが、其中に乳母子守の實情や心持が、餘程よく現れて居る章があるから、大略述べて見たいと思ふ。此本は博文館の氣質全集の中にある。

さても都、中原の邊に甘崎屋小左衛門といふ絹布商人があつて、三十二歳の今年までに二人の子供を持つた。兄は五つ、弟は三歳になつて。兩親の寵愛は並々でなく眼の中へも入れたいばかり、小左衛門の内儀は未だ二十三と云ふ若盛りであるところから宮芝居が好きである故、折々神詣で、寺參りの序には、子供芝居へ子供を乳母に抱かせて連れ行く事もあつたのであつた。ところが子供より乳母がいつとなく芝居功者の見物好となり、明け暮れ弟の三つになる子供を抱ては芝居見に行く樣になつた。それも外で守して來るといつては子供芝居へ入り、よい時分に戻つて來て、芝居へ行つたと告げるのはほんのたまで、大抵は誓願寺の後堂や錦の天神に、日向ぼつこして居ましたと僞り通して居た。子供は未だ三つであるから芝居見たとて何の面白い事があらう、ぐず／＼泣き出せば見物からも、木戸からも、しつしつとか東西々々とかいうて叱かられる。さればとて其儘芝居中途で歸るのも殘念さに、千鳥松風や切砂糖、猫の糞と異名を取つた一文菓子（駄菓子）を袂に入れ置いて、何度でも泣く度に食べさせ、それをほうばつて居る所へ、乳を飲ませて頭をおさへて懷へねぢ込みて、芝居を見て居り、又或る時は、でのある樣にと手毬程の琉球芋を持たせて置きなどして夕景になり、どうしても泣き止まぬ時は是非なく、歸宅する其途中でも、この子は聞き分けがないとか、泣蟲だとか云つて、搖振り倒し又はお尻をつねつたりしたものである。

ところがどうしたものか、是れまでは嚔一つしなかつた子供が三月の節句すぎから夜々熱が出て、兎角鼻をひねり、腹ばかり大きくなつて、手足は絲よ

りも細く瘦せ、唯いじ〳〵して來て、「乳母やうまうま」と云ふより外には舌が廻はらない故、何樣な樣子か判らず、乳を吐いたり、吐き氣を催したりする樣になつた。今日でいふ重症の消化不良の容體である兩親はもとより一家一門大騷ぎとなつた。考へて見るとこれまでは乳母に物を喰べさせるにも、喰物養生記を毎日見ては與へて居り、子供に蟲おさへの丸藥は一日も缺かさず、毎夜寢る時は功者な按摩を賴んで揉ませて居る程であるに、これはまあどうした事ぢや、乳母や外で何か喰はせぬかと問へば、眞顏になつて怒り、此大事なお子樣に何むざ〳〵と上げる物ですかと、眞赤になるに、これはこちらが不調法、赤い顏して腹立てるも、律氣な乳母の氣からは無理でないと、主人も乳母を信じきり、子の病中に乳母を立腹させ、乳でも少なくしては尚ほ更ら難儀な事と思ひ直して機嫌をとり、若しやと內證で丁稚小僧に探りを入れて見ても、既に日頃から乳母から鼻藥の囘つてる事とて、乳母の惡い樣の事はいはず

歷々のお醫者方を賴んで診察を受けても、是は生れ付ての蟲だとか、胎毒だとか云ふのみで、乳母の食べさせた物の惡るいと云はぬ故、乳母こそ大安心、お子樣の病氣が苦になつて飯が不味いといつて、飯毎に小言をいへば、主人氣の毒がりて氣をつけて、お菜など特別にして與へたとの事である。

子供の病氣の方は、元來が無病の親の子で、丈夫な體質を持つて生れた故か、百日ばかり經つて段々と快方へ向ひ、九人目の醫者にかゝつた時、もう大丈夫、安心と診斷されたので、一家一門打寄つての大喜び、いよ〳〵病氣全快祝となつた。さても今度は乳母が非常な骨折、誠に氣をもんでの心遣ひで顏が瘦せた。これは子供の全快祝だとて、結構な小袖一つ。金百疋の心付、乳母が、里へも何か遣るがよいと主人が內儀へ云ひつけて又野毛縞二反に鰹節五つ、さても仕合せは此乳母、心遣ひで顏の瘦せたのは、丁稚小僧に鼻藥は與へて置いたが、何を云ふも子供の事、今日はしやべるか、明日は暴露はし

ないか、毎日の芝居見物の中に、誰か知つた人は無かつたかと百日ばかりの心配で、痩せこけたが錢もうけ、六月の祭前にほつと溜息づいて、蚊のくふのも厭はずに、氣をゆるして寢相惡くも寢て居る姿の乳母殿こそ大平樂。

以上が此物語の梗概である。

これは今から百五十年も前に出た本で、而かも一小説に過ぎないが、これに似た事實は大正の今日でも所在腐る程ある。ほんのありふれた一例に過ぎないと思つてよいそれでも注意すべきである。

子供の腹掛

醫學士　宇都野　研　述

今日の子供は昔の子供程に、腹がけといふものを用ひてない様であります。それには種々の理由があるであらうと思ふ一體腹がけといふものをどうして用ひ初めたかといふに、元は恐らく服裝と關係がある事であらうと思ふ。左右の衽を合せた寛濶な服裝を子供にさしておきますと、勢ひ前がはだかり易いことに夏季の如き薄著に於てさうである。夏の夜などは殊に腹部全體を露出して寢てゐるやうな事は日常見るところであります。然るに腹部の皮膚はいつも外氣に對して最も庇護せられてゐるところであります。試みにわれ〳〵がどんな服裝をしてゐるかといふと、シャツを著、腰卷をし、ズボン下をはき、襦袢、上著を著して居りますが、それらはいづれも腹部の一部または全部を蓋つて居ります。加之その上から帶をしめて居ります。斯くまでに衣服に依つて庇護されてゐる皮膚は他になからうと思ふ。從つて寒暑に對する抵抗力も最も弱められてあらねばならぬ。腹がけといふものは要するに、この抵抗力の少ない部分を庇護する目的で用ひはじめたものであらうと思ふ。(多少美的方面からの要求もあつたらうが）これは昔の日本服に於ては合理的なものであらうが、今日の如く子供もシャツやズボン下を著る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

様になつてその上に更に、腹がけをするといふことは庇護が過ぎて一層抵抗力を弱めるといふ結果になりはすまいか。今日、以前の如く腹がけが應用されなくなつたのは、理の當然と思はれる。それで私どもとしては、腹がけといふものは日常これを用ひてゐるといふ事は贊成できないのみならず、却て害がありはせぬかと思ふが、初夏から盛夏へかけて小兒が腹部を露出し易い時期、殊に夏の夜間これを用ひるといふ事には至極同感である。然し發汗し易い小供では腹がけを用ひるよりも腹部だけに傳導性に乏しい布（腹がけの切れとしてもかういふものを用ひる）卽ち晒木綿とかネルとかいふもので腹帶をさした方がよい。つまりこれは寢冷えといふ事を防ぐのであるが寢冷えといふことの殊に小兒胃腸に對して恐ろしい事は民間で昔からいひ來たつたことである小兒の胃腸に對する疾患殊に消化不良のやうなものは、食物の關係であるといふやうにのみ考へてゐた時代もあつたが、今日では小兒の體質や季節といふものに餘程注意を拂つてゐる。季節といつても、以前は氣溫の爲に食物が酸敗するといふ點にのみ重きを置いてゐたが、今日では寧ろ榮養機能にたづさはる細胞自體に及ぼす影響といふ方に解釋して居ります。さうしてそれには單に小兒の周圍が、暑さに失するといふやうな事のみならず、寢冷えといふものも胃腸の疾患を起す一つの動機として考へられて居ります。夏季水泳をするために下痢するのも同じ意味です。

盜賊に對する心得

莊司秋次郎述

追々寒くなると火事が頻繁になる、泥棒が多くなる。火事は「ランプ」時代と異り電燈になつてから

著しく少なくなつた。家屋も茅葺家根が無くなり木造が煉瓦又は石造となるにつれて益々大火と云ふものが稀になり、特に消火法の進歩に由て、江戸の華と云はれた不名譽の名物火災も餘り起らぬやうになつたが、盜賊だけは石川五衞門さんの豫言の通りなか〳〵種が盡きない、生活の困難になると共に益益多くなつて來る。世に盜賊と云ふ者が無くなつた時は、それこそ單に社會の組織制度が理想通りに成就したのみならず、人間が全く心より人道を蹈み行ふやうになつた黄金世界の時のことである。

無人の家庭、特に女や子供のみ留守居勝の家庭などに於ては、盜賊が頻繁に跋扈すると云ふ物騷の噂を聞いては心細くも感ぜられる。依て私が嘗て、ある武藝の達人に聽いた所を述べて、盜賊に對する心得の一端と致したいと思ふ。これも決して盜賊と組打をする方法ではない、全く事無かれ主義の心得で家庭衞生とは云はぬが、家庭を掌る人の心得て置て然るべき事である。

昔の武人は、毎日夕刻になれば、決して下女下男などに委せて安心して居ない、必ず自身で屋敷の周圍竝びに廐等を見巡つて不用心の個所の無い樣にしたものであると云ふ。尙ほ夜に入つても火の用心は申すに及ばず、戸締も注意し、いざと云ふ場合には何時でも狼狽せずに事に當り得る覺悟があつた。然れば犬や火の番などを頼りに安閑と眠る樣な腑拔者は眞の武士でないと謂ふてゐた。斯樣な人の住家には勿論泥棒などが這入れる筈のものではないが、兎も角も先づ戸締を嚴にすることは、泥棒用心には何れの家でも必要な事である。盜賊とても成るべく這入り易い處に這入る。特に雨戸の端の方、便所口、煙突、臺所口等云ふ樣な處が這入り易い處である。又窗から燈火が見えたりして居れば兎角覘かれ易い何と云ふても屋敷内が整頓して、何處を見てもきちんとして居る樣な家は盜賊の這入り難い家で、所謂奥樣のダラシナイ家が盜賊の忍び入り易い家な事は疑ない。又盜賊などと云ふものは大抵臆病で而か

も迷信深いものであるから變な泥棒除けの御護符などが戸口に貼つてあると實際そこから這入ることを忌むと云ふ事であるが、今日の如く神も佛も粗末に取扱ふ世中となつては、斯樣な御護符などが貼つてあれば、却つて馬鹿にして這入るかも知れぬから、餘り效は無いだらうと思ふ。

さて夜中又は晝間でも獨で留守居などをして居る際に賊らしき者が戸をこぢ開け樣とするに氣が付いたらば如何するか。

若し武藝に達して居る豪傑でもあれば、無論一喝して追拂ふであらうが、賊と闘ふことなどを欲せず、殊に婦人の身であれば、先づ第一に賊が這入らんとして居る處と反對の方面の戸を開ける事である。これに氣がつけば賊は必ず逃げて行くに相違ない。若しそれでも侵入して來たならば、直ぐ戸外に跳出して泥棒と呼ぶなり、交番所へ訴へるなりすれば宜しい。

次に賊が這入つてから氣が付いた場合には如何するか。

この場合には決して騷いだりしては宜くない。盜賊などと云ふ輩は、這入る迄は非常に臆病で鼠の音にも逃出すが、一旦踏込むだ上は生命懸であるから大膽不敵になつて居る。斯樣な猛獸の如き者を嚇したり、相手になつて闘つたりするのは愚である。必ず怪我をしたり、殺されたりすることになる。であるから斯ういふ場合には恐れず騷がず平然として彼の爲すがまゝに委せて置くより仕方がない。併し若し確實に戸外に飛出すことの能る見込があるならば賊の働いてゐる隙を窺て外に飛出して仕舞ふ。併し兇器などを携へて居る賊に追はれては危險であるから、必ず先づ何處の室を通つて何處の戸を開けて外に出れば、賊に捕へられることはないと云ふ事を十分考へた上のことでなければならぬ。

最後に若しそれでも猶ほ暴行を加へんとする樣な事があれば如何するか。

此時とても矢張、百計逃るに加かず。逃げるので

あるが、その逃げ方が大切である。決して一直線に逃げてはならぬ。必ずテーブルなり、火鉢なり、柱なり障碍物を利用して迂廻しながら逃げる、且つコップなり一輪插なり、インキ壺なり、硯なり、火箸なり、鐵瓶なり何でも手當次第に賊を目掛けて抛つけながら逃ることが必要である。これは決して力を込めて抛つけるには及ばぬ、唯だ賊の追ひ來る鼻先にピョイ〳〵と變つた物を放つてやれば宜しい。而して賊の這入つて來た所、又は他の容易に出られる處から外に逃出して仕舞ふのである。これは武藝者の秘傳の一つで、斯樣な危急な場合には必ず枕とか鐵瓶とか手當次第に賊にたゝきつけた上で刀を拔く自分よりも強敵と見れば、手裏劍を打つて切込むと云ふのである。如何に不敵な者でも目先、鼻先に矢鱈な物が飛で來ては追擊に躊躇せざるを得ない、其間には戸外に逃出す位の餘裕は出來るのである。いよ〳〵最後に、如何にしても逃ることも出來ず、害を加へられんとする時には如何する。

所謂正當防禦の場合であるが、こゝに到れば最早決闘であるから、其人の度胸、腕力、柔劍術等の素養次第で如何とも仕方がない、殊に婦人には本より無法の業ではあるが、併し平素婦人としての修養ある靜淑温和の人の斯る時の態度は、決して腕力や柔劍術に劣るものではない。その天使の如き觀音菩薩の如き美はしく淑やかにして而かも沈著侵し難き人格の威光に逢ふては、兇惡、狡猾の如き惡人も忽ち猫の如く鼠の如くなるや必然である。斯る例は世に少なくない。願くは常に此の如き修養に心掛けその圓滿の德相が事に當つて自ら光明を放つて克く惡人をも敎化得度し得るやうにあり度いものである。

併しこれは理想で、何時でも何人でも左樣な威德を具へて居るとは思はれない、矢張決鬪して加害を防げるだけ防がなければならぬ場合もある。その時は如何するか。

斯樣な事を婦人方に對して說くのは甚だ忌むべき

事ではあるが、唯だ簡單に一言して置くことは、第一に氣を落付けることである。併しこれは無理な要求である、依て先づ兎も角も下腹に力を入れて腰をしつかりすることである。第二には短銃なり刀劍なり武器が間近にあつて、これを執ることが出來れば、宜しくそれを以て自構すべきである。併し決して此方より先んじて發射し又は切掛る樣の事をしてはならぬ。若し先方より將に害を加へんとするに臨では、短銃を發射すべく、最初の一發は必ず敵の顏に向て發射しなければならぬ。若し刀劍であるならば、決してこれを振つたり擊つたりしてはならぬ、必ず死を決して、敵の動くを待て兩手を以て唯だ眞直に敵の胸部又は腹部を突くべきである。

斯樣な事があつてはならぬが、昔の武藝者が全く武術の心得の無い人に速成的に仕合を敎ふる時は必ず斯く敎へると云ふまでの事である。

それから前にも云ふ通り、盜賊などと云ふ者は、人の家に忍び入る際には非常に臆病なもので、而かも一旦侵入したとなると今度は無法に大膽になつて如何なる兇行でも演じかねぬ樣になる。併し復今度出て行く際には一層臆病になるものだと云ふことである。それで、ある老婆は度々强竊盜に襲はれたが、毎度その品物を取返したと云ふ。それは如何して取返したかと云ふと、賊が這入つた時には、はい〱と云ふて何でも柔順に出して與へる。而していよいよ賊が品物を持て將に戸外に一步出んとする際に、今迄首を縮めて只はい〱と恐れて居た老婆が突然箒の樣な物をおつとり擧げて此野郎とか何とか云ふ恐しい權幕で背後から擲りつけるので、賊は腰を拔かして取つた物のみならず、自分の所持品までも棄てゝ逃出す。斯樣な具合に賊の最も臆病になり、自分から逃出さんとする氣合を見計つて、背後から突然一擊を喰ふのであるからたまらない。沈著にして機轉がきけば、盜賊位は老婆でも手捕に出來る何よりの證據である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

○內務省妊產婦及兒童衞生講習會

內務省衞生局主催の第二回妊產婦及び兒童衞生講習會は明年一月二十二日より三十日迄福岡市東中州縣第一公會堂を會場とし、講習員には長崎、山口、福岡、大分、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島及び沖繩の九縣に於ける衞生及び社會事業關係者、各女學校敎員、媬姆及び產婆看護婦等の聽講希望者百五十名を採用することゝし、各地方長官にその推薦方につき通牒をしたるが、講習科目及び擔任講師左の如し。

科目	講師
一、兒童保護の必要に就て	內務書記官　湯澤三千男
一、妊娠分娩產褥の心得と主なる疾病	醫學博士　今淵恒壽
一、初生兒、乳兒の保育と主なる疾病	醫學博士　伊東祐彥
一、幼兒、學齡兒童の保育と主なる疾病	九大講師　佐野寅一
一、兒童の精神發育と精神異常兒の保護	醫學博士　榊保三郎
一、兒童の看護と救急處置	秋山隆一
一、婦人、妊產婦及兒童の榮養	醫學博士　佐伯矩
一、遺傳に就て	醫學博士　石原誠
一、妊產婦及び兒童に對する社會施設	內務技師　氏原佐藏
一、虛弱兒童の保護事業	內務技師　宇上英夫
一、齒牙の衞生	醫學博士　岡田亮次
一、婦人及び兒童の運動遊戲	醫學博士　板垣政參

○東京府の產婆試驗成績

本年第二回同學說試驗は出願者一千三百四十九名中缺席者百七名、受驗者一千二百四十二名合格者百七十三名、實地試驗に及第したるは三十五名にして孰れも來る三十日及第證書受與の筈なり。

○殺鼠劑の配付

虎列刺は幸に終息したるも、大阪市に於ける「ペスト」は奈良、高知の兩縣に蔓延し、益〻猖獗を極めむ

とするの狀勢にあり、東京と大阪とは物資の輸送其他密接の關係あることゝて何時如何なる媒介により該病毒の侵襲を受くるやも計り難く豫防上最も警戒の必要ありとし、警視廳衛生部にては市當事者と協議の結果來る二十日より必要區域六萬八千戸に對して殺鼠劑を配付し、次で日暮里、南千住、三河島、千住の各方面にも順次これを及ぼすことゝせり。

○臺所用具展覽會

世帶の會では家庭經濟上の消費節約を徹底せしめるため東京市內各女學校で講演會を引續いて開いてゐるが更に來月中旬を期して歐米に於ける臺所用具の展覽會を商工獎勵館に於て開く筈である。

○產業展覽會

農商務省主催の產業展覽會はいよ／＼去る十五日から向二週間開催された、出品は特に主婦方のために開かれたものである。

○兒童公園の盛況

淺草藏前に新設されたる兒童公園の成績を見るに去る七月末迄の入園者總數七萬九千九十七人に達し、之を月別にすれば左表の如し。

	六月	七月
男	一〇、八三〇	一〇、六二〇
女	一一、二〇三	一一、八六〇
附添人	一、七〇九	一、五五二
總人員	二三、七四二	二四、〇三二

尙ほこの成績の良好なるより市內各方面に向つて此種公園の增設を請願する向多しと。

○海濱學校建設計劃

東京市內の小學兒童二十四萬人の內六分の一即ち四萬人は榮養不良、腺病、扁桃腺炎等に侵されつゝあるを以て市學務課に於ては是等の兒童の爲に海濱學校を建設することゝなり、千葉縣安房郡保田町若しくは富浦村に於て約一萬坪の敷地を選定すべく、その費用は大正十二年度の豫算中に編入せらるゝこととなれり。

私立大日本婦人衛生會役員氏名

總裁　東伏見宮妃周子殿下
會長　侯爵夫人　鍋島榮子
副會長　子爵夫人　濱尾作子

（いろは順）

理事	鳩山春子	同	長谷川仲子
同	岡田德子	同	高木鍒子
同	山口貞子	同	天野多喜子
同	三浦敎子		
評議員	入澤常子	同	羽田三緒子
同	服部繁子	同	原光子
同	子爵母堂　仁禮壽賀子	同	土肥多越子
同	緒方悅子	同	岡山とし子
同	小川孝子	同	加藤鈴子
同	片山艶子	同	男爵母堂　吉岡彌生子
同	丹波貞子	同	高橋孝子
同	男爵夫人　南部限子	同	中濱芳子
同	松平芳子	同	子爵母堂　松井正子
同	男爵夫人　古市幸子	同	近藤蕊子
同	相磯まさ子	同	男爵母堂　青山孝子
同	岸澄子	同	菊池米子
同	宮本榮子	同	三宅藤子
同	守屋千代子	同	瀬川さわ子

大正十一年十一月二十八日印刷
大正十一年十二月一日發行

東京市本郷區駒込千駄木町五十八番地
編輯者兼發行者　莊司秋次郎

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷者　柴山則常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所　合資會社　杏林舍

東京市本郷區駒込千駄木町五十番地
發行所　私立大日本婦人衛生會事務所
（振替東京一〇六〇〇番）

賣捌所

東京市本郷區龍岡町　吐鳳堂
同市銀座三丁目　東海堂
同市京橋區鈴屋町　耳明堂
同市同區龍岡町　南江堂支店
同市芝區愛宕町　明文館
京都市寺町二條南入　若林茂一郎
東京京橋元數寄屋町　北隆館
同市神田區表神保町　東京堂
同市本郷區本富士町　盛春堂
名古屋市榮町六丁目　丸善書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

腸疾治療劑

ラクトスターゼ

ラクトスターゼはメチニコッフ博士の腸内容中毒説以來有名となれる乳酸菌製劑にして、同博士の以て最良となせる眞正ブルガリアン乳酸菌を生活狀態に於て保有するものなり。本品中に含有せらる、乳酸菌は腸中に至り玆に繁殖を遂げ乳酸を醸成して腸内の異常醱酵乃至腐敗を防止し蛋白質の消化分解を完全ならしめ同時に適度なる刺戟を腸壁に與へて其分泌、吸收、蠕動の主要官能を旺盛ならしむ、依之諸般の腸疾患を防ぎ進むで腸内容の防制腐に乘て其排泄を迅速ならしむるが爲め新陳代謝順調となり、所謂早老豫防の效果を完ふし得と稱せらる。

適應症 異常醱酵性下痢、人工營養兒の消化不良、急慢の腸加答兒、皺腸ハ常習便秘、腸内有害産物吸收の結果として生ずる蕁麻疹、濕疹等の皮膚疾患、腸性貧血、慢性腎炎肝硬化及蛋白質多食を必要とする諸症例へば肺結核、糖尿病等。

■粉末、錠劑各種あり。■各地有名藥舖にて販賣す ■文献築發賣元より贈呈すべし。

本社 東京日本橋區室町三丁目
出張所 大阪淡路町・臺北府後街

三共株式會社